



楓の森アップデート3



合志市立合志楓の森小学校
学校だより 第7号
令和7年6月27日(金)
文責:校長 佐藤 政臣

○校訓 「志高く道を拓く」

○学校教育目標 「夢を持ち 自ら考え よりよく行動できる児童の育成」

人権月間の取組 縦割り人権集会①

～ 小1 から小4 の縦割り～

人権月間の取組として、「縦割り人権集会」を行っています。小1～小4までのグループと小5～中3までのグループにわかれています。

今週(6/26, 27)は、小1～小4までの集会を行いました。以下にその内容について述べます。

1年生は、教材「かお」で学んだことを発表しました。

そのなかで、「相手を見て、どんな気持ちなのかを考えることが大切だとわかりました。」「どんな気持ちなのか気付き、考え、伝えることが大切だとわかりました。」などと発表することができました。

友達のことを気にかけて、「どうしたの? だいじょうぶ?」と声をかけ、ひとりぼっちにしないことなど、思いやりのある行動について学ぶことができたようです。



2年生は、教材「ぼくのランドセル」で学んだことを発表しました。登場人物の「ゆうや」さんは、「ひろし」さんに対して、無視したり、命令したりします。

しかし、「ひろし」さんは、いやなことをされても、言い返すことができません。そこで、イライラして、自分より弱い「ともお」さんにいじわるをしてしまった。

この教材を学習して、自分も似たようなことがあると、自分の経験と重ねて発表することができました。

「いやなことをされても言えないことがあった。今後からいやなことはいやと言いたい。」など、おかしいと思った時は、行動に移すことの大切さを学ぶことができたようです。



3年生は、教材「ぼくさびしかったんだ」で学んだことを発表しました。登場人物の「さとし」さんは、みんなからこわい人と決めつけられていて、いつも一人で帰っていました。

その仕返しに暴力をふるい、先生から注意を受けていました。

そこで、先生にすすめられて、自分の気持ちを日記に書いてみんなに話しました。みんなは真剣に話を聞いてくれて、お返しをしてくれました。お互いの気持ちが伝わって、仲直りをすることができたというお話をしました。子どもたちの発表やスローガンには……。

○自分の気持ちを言葉で伝えることの大切さを学びました。

○「みんなが安心してすごせるようにおたがいの思いを心から受け止めることができるクラス」にしたいです。

○「ありがとう、ごめんなさいを伝え、人によって態度を変えないクラス」にしたいです。など

友達のことを気にかけて行動することの大切さを学ぶことができたようです。

4年生は、教材「わたし」で学んだことを発表しました。登場人物の「わたし」は、学校にいきたいと思っても、校門を入ると、友達の目や先生の目が気になって、前に進めなくなってしまいます。また、みんなが遊びにさそってくれるのはうれしいのに、体が動きません。しかし、自分でもなぜそのようになるのか、わからないというのが「わたし」の悩みです。

4年生になると、さらに心が成長し、友達関係で悩むことがあります。自分の気持ちを素直にあらわすことができず、相手はわたしのことをどう思っているのだろうと……いろいろと考えてしまうのです。子どもたちの発表では…。

○みんなそれぞれ違うから相手の気持ちを考え行動することの大切さを学びました。

○友達のことを知って、みんなが安心できるクラスにしたいです。など、友達とのつながりについて発表することができました。

